

國際労働會議労働代表
 候補者
 大塚文吉 荒木義夫

拜啓者之概昔々皇意御旨之以本森員被推て私事全回瑞西「モック」
 に於て同僚の第五回國際労働總會の我邦使用者代表山崎氏との期間として出
 席候事上相成癸三十一日午後七時三十分東京發發列車にて出發九月二日神
 戶解纜の郵船伏見丸にて印度洋經由佛國「マゼラン」に直航開航地に向ふ
 存念に御座候誠ては此際一々参趣の上御告知可申上の處多仕の際自無之
 年賀儀書中を以て右申上候
 是で歸郷後は歐州諸國を視察克く米國經由明命歸朝の具込に候

大正十二年八月

東京市牛込區樂王寺町七十九番地

豊原又男

啓上殘暑殿敬御座候處高堂僑御清榮奉慶賀候儀私儀此度
 第五回國際労働總會日本政府代表委員顧問を命せられ來
 る九月二日神戸より伏見丸にて出發致すこと相成候就
 ては拜趨の上御暇乞申上ぐべき筈の處多忙の爲め其意を
 得ず候次第不惡御蒙恕被下度候猶留守中自然御無沙汰勝
 に相成るべく此儀も前以て御許し願上置候 敬具

大正十二年八月

鈴木孔三

東京府豊多摩郡野町打越二〇五〇

原 豊 又 男